

学芸研究会

七月二六日

谷 和隆

神子柴文化と土器の出現

川崎 保

縄文時代軟玉製品の起源と変遷

八月三〇日

小柳 義男

芋川氏の出自

唐澤 敏

生涯学習社会の形成と開かれた歴史館について

一月二五日

大竹 憲昭

竹佐中原遺跡と日本先土器時代文化の研究

黒岩 龍也

歴史館が学校から期待されていること

―歴史館アンケートの結果より―

九月二七日

児玉 卓文

足利三代木像梟首事件とその周辺

宮下 健司

戸隠からみた飯縄・秋葉信仰

二月二八日

滝澤 正幸

川上冬崖・小山正太郎と北海道

―北海道茅部嶺之図―

一〇月二六日

黒岩 龍也

夜間瀬川水系八ヶ郷用水の歴史

大竹 憲昭

長野県における先土器時代研究の歩み

福島 正樹

(長野県教育委員会文化財生涯学習チーム)

みんなの信州遺産

―信州文化遺産保全中長期計画(案)について―

十一月二九日

前澤 健

狂犬病の侵入とその情報

五月三一日

村石 正行

北信濃における南北朝内乱史

田村 栄作

長野県への学童集団疎開

成竹 精一

―元文二・三年信濃国伊那郡を事例に―
ユニバーサルミュージアムをめざして

六月二九日

水沢 教子

屋代遺跡群出土土器に見る「在地胎土」

―縄文中期から平安後期に至る

森山 俊一

『諸国道中商人鑑 中山道・善光寺之部 全』について
の一考察

中條 昭雄

福島安正 ―単騎シベリア横断の男―

土器群の胎土分析を通じて―